

令和8年度 出雲市立大社幼稚園 経営案

令和8年4月1日

I 教育目標

「心豊かにたくましく思いやりのある園児の育成」
～ 瞳キラキラ いきいきと笑顔あふれる 大社幼稚園 ～

II めざす3つの姿

【めざす子ども】～ ふるさと大社を大切に思う子 ～

たくましい子 … 健やかな身体を育み、粘り強く取り組む

心豊かな子 … 感動する心、感激する心、感謝する心をもつ

思いやりのある子 … 相手の気持ちをわかろうとする心をもつ

【めざす園】～ 保護者・地域から慕われる園 ～

安心・安全な大社幼稚園 … 安全に過ごせる環境、信頼される園

親しみのある大社幼稚園 … 保護者・地域にとって身近な園

成長し続ける大社幼稚園 … 伝統と文化、社会の流れに呼応している園

【めざす教職員】～ 率先し・共に動き、あたたかみのある教職員 ～

誇りのもてる教職員 … 職場と仲間と自分に誇りとやりがいをもてる

一丸となる教職員 … 協調性と協働性を持ち、みんなで支え合う

人間性豊かな教職員 … ひととしての幅、心の懐を広げる

Ⅲ 基本方針

1. **すべての子どもをすべての教職員で見つめ育てる。**
 - (1) 人権・同和教育と特別支援教育の視点を持ち、一人一人に寄り添う。
 - (2) 様々な活動や場を通して、互いが認め支え合える集団をつくる。
2. **就学や将来に向けた「生きる力」の基礎・土台を育む。**
 - (1) 人に触れ自然に触れ、体験・作業などを通して感性を磨く。
 - (2) 「やり抜いた」「やり通した」という達成感を引き出し、自尊感情を高める。
 - (3) 集団生活・活動を通して、自己有用感を高める。
 - (4) 年少児から就学に向けた資質と能力を育てる教育課程の実施をする。
3. **地域と連携し、「ふるさと大社」を大切にする心情を育てる。**
 - (1) 伝統行事や地域行事の体験を推進する。
 - (2) 地域での自然体験やふれあい体験を推進する。
 - (3) 保幼小や各種団体との連携を推進する。

Ⅳ 本年度の重点

1. **子どもがいきいきと活動できる環境づくりと支援体制づくり**
 - (1) 子どもの思いや背景を受け止め、いきいきと活動できる環境をつくる。
※近過ぎず遠過ぎず（「塩梅」を意識）
 - (2) 危機に適切に対応・支援できる体制をつくる。 ※未然防止、迅速・組織・誠意
2. **基本的な生活習慣づくりと体力づくり**
 - (1) 基礎体力・体幹、運動習慣の向上をめざした遊びや活動と食育を推進する。
 - (2) 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」「メディアバランス」を推進する。
3. **保護者や地域や各団体と連携した開かれた園づくり**
 - (1) 職員がそれぞれの立場を理解し、一丸となって園の活動を推進する。
 - (2) 積極的に情報発信と交流を行い、共に子どもを育てる意識を高める。
 - (3) 町内の保幼小と連携して交流を進め、縦と横の連携を充実させる。→「保幼小の架け橋プログラム」の理解・推進
4. **教職員の資質の向上**
 - (1) “ひと”として“社会人”としても自己を高め、豊かな教育の実践者をめざす。
 - ▷ “ひと”として…「お互いを尊重し、補い合う」
 - ▷ “社会人”として…「報告・連絡・相談」、「率先し、早めに動く」
 - (2) 意欲的に多様な研修や体験を進め、指導者としての幅を広げ・深める。 ※遊び心も大事
5. **研究活動の充実**
 - (1) 子ども実態を把握し、「3つの柱」を中心とした成長を促す研究活動を進める。
 - (2) 大社幼稚園の「強み」や「よさ」を生かした研究内容と方法をめざす。
 - (3) コミュニケーション活動や読書活動などを通して、言語力の向上を図る。